

(本件に関する照会先)

日本銀行徳島事務所 088-622-3126

2022年1月19日

日本銀行高松支店

徳島事務所

徳島県金融経済概況

1. 概況

- 徳島県内の景気は、基調としては持ち直しているものの、一部に新型コロナウイルス感染症の再拡大や供給制約による下押しの影響がみられる。

すなわち、設備投資は増加している。個人消費は、基調としては持ち直しているものの、感染症再拡大の影響からサービス消費を中心に、足もと下押し圧力が強まっている。住宅投資は持ち直しの動きがみられる。公共投資は弱めの動きとなっている。こうした中、企業の生産は増勢が鈍化している。雇用・所得情勢をみると、労働需給は弱い動きとなっている一方、雇用者所得は持ち直しの動きがみられる。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、増加している。

12月短観における設備投資（全産業）をみると、2021年度は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、基調としては持ち直しているものの、感染症再拡大の影響からサービス消費を中心に、足もと下押し圧力が強まっている。

大型小売店の売上は、持ち直しの動きがみられる。

乗用車販売は、持ち直しの動きがみられる。

家電販売は、底堅く推移している。

住宅投資は、持ち直しの動きがみられる。

公共投資は、弱めの動きとなっている。

- 企業の生産は、増勢が鈍化している。

はん用・生産用機械は、増加している。化学は、緩やかに増加している。パルプ・紙・紙加工品は、持ち直しの動きがみられる。電気機械は、増加の動きが一服している。金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。食料品は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。輸送機械は、弱めの動きとなっている。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給は弱い動きとなっている一方、雇用者所得は持ち直しの動きがみられる。
- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%台半ばのプラスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（11月）は、前月に比べ前年比プラス幅が拡大した。
貸出約定平均金利（11月）は、前月比低下した。
- 預金（11月）は、前月に比べ前年比プラス幅が縮小した。
- 倒産および信用保証協会の代位弁済は、低水準となっている。

以 上